

地域ブランド「総選挙」

東海・北陸7県 地元学生 SNS発信 食材、工芸など

経済産業省の関東、中部、近畿各経済産業局と特許庁は8月から「東海・北陸地域ブランド総選挙」を開催す

る。本県など7県で地域団体商標に登録されている食材や料理、工芸品など18件について、地元大学生が取材し、魅力をSNSで発信する。学生たちは12月の決勝戦に向け、商標を活用した新商品や新しいビジネスの提案

東海・北陸 地域ブランド総選挙に参加する地域団体商標

県	地域団体商標	担当大学
静岡	丹那牛乳	日大国際関係学部
	三方原馬鈴薯	静岡文化芸術大
	由比桜えび	静岡大
愛知	豊川いなり寿司	名古屋大
	三州瓦	
	豊橋カレーうどん	
石川	能登ふぐ	金沢星稷大
	小松うどん	
岐阜	美濃和紙	岐阜大
	ひるがの	
	高原だいこん	
	飛騨の家具／飛騨・高山の家具	
富山	魚津バイ飯	富山国際大
	高岡銅器	富山大
福井	若狭かれい	福井県立大
	芦原温泉／あわら温泉	福井大
	伊賀くみひも	
三重	くわな錆物	三重大
	伊勢型紙	鈴鹿大

にも挑む。

県内から参加するのはJA函南東部の「丹那牛乳」、JAとびあ浜松の「三方原馬鈴薯(ばれいしょ)」、由比港漁協の「由比桜えび」の3件。丹那牛乳は日大国際関係学部、三方原馬鈴薯は静岡文化芸術大、由比桜えびは静岡大の学生がそれぞれ担当する。学生は商標取得団体とチームを組み、団体の取材を通して魅力を発掘、新商品のアイデアの検討に取り組む。

8月上旬から取材に着手し、9月上旬から魅力を写真共有アプリ

「インスタグラム」で発信する。投稿内容や「いいね!」の数、新商品・ビジネスのアイデアを踏まえて審査し、10チーム程度が12月に名古屋市内で開かれる決勝戦に進む。

決勝戦はプレゼンテーションを行い、最優秀賞など各賞を決める。

地域ブランド総選挙は2017年度、地域団体商標制度の普及・活用の促進を目的に九州地方で初開催された。東海・北陸地方では初。(東京編集部・八木敬介)